

令和4年度  
第3回西脇市総合教育会議  
議事録

令和5年3月27日

西脇市教育委員会

## 西脇市総合教育会議議事録

### 1 開催日時

令和5年3月27日（月）午後3時～

### 2 開催場所

西脇市役所 大会議室

### 3 出席者

#### (1) 市長及び教育委員会

市長	片山象三	教育長	笹倉邦好
教育委員	岸本みのり	教育委員	柴垣美紀
教育委員	藤尾寛	教育委員	和多眞乗

#### (2) 事務局

都市経営部長	渡辺和樹
教育管理部長兼教育総務課長	高橋芳文
教育創造部長	足立英則
学校教育課長	松本亨
学校教育課主幹兼教育研究室長	衣川正昭
学校適正推進課長	鈴木成幸

### 4 傍聴者

9人

### 5 会議の概要

- ・ 市長あいさつ
- ・ 協議・調整事項

#### (1) 西脇市立小中学校学習環境規模適正化について

- ・ その他

## ○事務局

皆さん、失礼いたします。定刻になりましたので、西脇市総合教育会議を始めさせていただきます。本日は大変お忙しい中お集まりいただきまして、誠にありがとうございます。ただいまから令和4年度第3回西脇市総合教育会議を開会いたします。私は本日事務局を務めさせていただきます。教育管理部長の高橋でございます。よろしく願いいたします。それでは、開会にあたりまして片山市長がご挨拶を申し上げます。市長よろしく願いいたします。

## ◎市長

教育委員の皆様方には、本市の教育行政の推進に格別の御支援と御尽力を賜っておりますことを心から感謝申し上げます。さて、令和2年の7月に教育委員会の方からの要請を受けまして、西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議に諮問をさせていただいた内容について、昨年7月に答申を受け、現在まで教育委員会において具体化されるための西脇市立学校学習環境規模適正化推進計画の策定作業が行われているところです。後ほどの協議で、中学校の3拠点化に際し、配置の検討を行うに当たり、新たに考慮すべき課題が出てくるなど、より慎重に検討を進めていく状況になったということです。簡単にいうと3点あると思います。新聞紙上でも、10年早く少子化が進んでいるという状況、2点目は、これも最近新聞紙上でよくでていますが、部活動の地域移行の問題。3点目はこのJR赤字路線が去年の4月になって急激に大きな問題になってきたという3点、他にもあると思いますが、ずっと延びてきた理由の一つに、この辺があるのではないかなと思っています。当然のことですが、可能な限り情報、条件等の基で先を見据えて、今現在の時点でどう考えるかというのが大切だと思っています。総合教育会議は、何回も言いますが、決定の場ではございません。あくまでも首長と教育委員会さんの方が教育の行政の大綱、教育について協議調整を行う場であるということを確認させていただいた上で、本日開催にあたっての部分について開かれた場で、委員の皆さんと意見交換を行うことにいたしました。本日は限られた時間でございますが、総合教育会議が有意義なものになりますようによろしく願い申し上げます。

## ○事務局

ありがとうございました。この後、議事に移らせていただきますが、会議の議長につきましては、西脇市総合教育会議運営要綱に基づきまして、片山市長にお願いしたいと思っております。市長、よろしく願いいたします。

◎市長

それでは、本日の傍聴希望者数を事務局の方からお願いします。

○事務局

本日の傍聴希望者は、9名おられます。

◎市長

傍聴要項で定める定員は原則5名になっており、定員を上回っておりますが、傍聴要項の但し書きに会場の都合により定員を変更することができますとされています。傍聴希望者9名が受け入れできる会場ですので、傍聴を認めさせていただくこととし、このまま会議の方を進めていきたいと思っております。

◎市長

それでは、まず議事録署名人の委員につきまして、指名させていただきます。岸本委員と藤尾委員をお願いいたします。議事録の署名をもって運営要項第5項第2号の議事録の承認といたしますのでよろしくお願い申し上げます。

◎市長

引き続きお手元の次第に従って進めさせていただきます。次第2の協議調整事項(1)西脇市立小中学校学習環境規模適正化についてです。挨拶でも申し上げましたが、中学校の配置について課題等を整理し、検討中ということで、その内容について各種資料を用いながら説明を受け、その後意見交換を行いたいと思っておりますので、それぞれの担当の方からお願いします。

————— [ 説 明…記述省略 ] —————

◎市長

説明が終わりました。まず資料説明に関して、各担当に対して分かりにくかったとか、聞きたいとかという点はございませんでしょうか。

◎市長

考えていただいている間に、私の方から部活動の地域移行のところをもう一回、少しスライドを戻してもらえますかね。この間の日曜日の全国紙にこの問題の特集がありましたが、読まれましたか。趣旨は、部活動はほぼ無償で指導を担う教員の献身に支えられてきて、競技経験のない顧問がつくるミスマッチと過重労働の温床とされてきたという部分で、説明がありましたように、3、4か月前にスポーツ庁と文化庁が地域移行を改革推進期間として指針を発表したということで、いろんなパターンがあるということが書いてあると思っておりますが、学校部活動の地域連携のところの下右側のところは、例えば3つの中学校があり、今回は西

脇中学校に行って一人の部活動の先生に教えてもらい、次は西脇南中学校に行って部活の先生に教えてもらう。もう一つは、今度統合するところに行って教えてもらうというようなことが、その新聞記事に書いてあったということではないのでしょうか。

○事務局

主体となる指導者は誰かということですが、指導者は地域の指導者になります。ただ、例えば、今週は西脇南中学校の体育館、来週は西脇中学校の体育館、再来週は西脇東中学校の体育館、次は黒田庄中学校で会場の順番に使います。その会場になった学校の先生は立ち会いますが、他の学校の先生は立ち会いません。ただ、その指導者、地域の指導者の中に学校の先生が兼務という形で、学校の先生の仕事とは別で、指導者として入られているというような例が紹介されていました。

◎市長

例えばですけど、バレー部の生徒が少なくなってきました。市内で3つの中学校、1つはもうほとんど廃部状態になってしまっていますが、1人やりたい子がいます。そしたら、1つのところに集まって、1つのオール西脇の部活動をつくるというのが、この地域移行後の姿というふうに考えたらいいのでしょうか。

○事務局

どの単位で部活動にするかということも含めて、検討が必要な内容かなというふうに捉えています。

◎市長

具体的には。

○事務局

この例でいうと4中学校で1つの場所ということになると思いますが、西脇市でいうと、種目によっては人数が確保できるので、逆に1つに集まり過ぎると多くなりすぎて練習しづらいというようなこともあるかと思っています。ですので、その場合は市内で2つにするとか、種目によっては1つにした方がいいのではないかとというようなところも検討が必要な内容かなというふうに捉えています。

◎市長

前のページに戻してもらって、ポイントになるのは3つの中学校になるので、2つと1つにするのか、全部ひとまとめにするのか、この部活動は多いから3つともとか、部活動をやりたいという子がいると、その希望を叶えようとする、この部活指導員がひよっとしたら学校の先生が兼業許可を取って指導者になっているケースがあるかもしれないけれ

ど、そういう形になるであろうということでもいいのですね。

#### ○事務局

下の場合ですと学校での活動になりますので兼業ではなくて、先生が時間外で教えるという形になります。上の例になって、ここは統合型地域スポーツクラブと民間事業者ですけど、例えば、西脇東中学校と黒田庄中学校で1つの活動をここが主体となってする場合は、先生方が兼業で行くという形になるということで、上と下で形が変わってくるというふうに捉えています。

#### ◎市長

なるほど、上のところは書いてあるように、休日の形ですね。下は学校部活動の地域連携だから、意味が違うわけですね。わかりました。統合する時の1つの大きなファクターが、3、4か月前に文科省、文化庁とスポーツ庁の方からこういう指針でいくよという流れができたということで、これもどこに統合するかというのがポイントになってくるということですね。

#### ○教育長

この件につきましては、ついこの間も個別に地域スポーツを担っておられる皆さん、そして学校の代表者、校長にお集まりいただきお話を聞かせてもらったのですが、その時の話では、なかなかその受け皿ということについて大変難しい課題がたくさんでました。教育委員さんに聞いてほしいのですが、西脇市には中学生が概ね1,000人います。1,000人を、単一の学級数、つまり定数40で割ると約25学級になります。25学級ということは25人の学級担任がいて、25人の担任には必ず副担任がつかます。50人とすると、その人たちがほとんど生徒たちと毎日部活をしています。つまり、その50人を今から探してこいということですが、そういうことも含めて慎重にやらないとなかなかここは難しい。外部指導者を呼んでくることについて、その人は、西脇スポーツ少年団に属しておられる少女バレーの監督さんで、その監督さんもスポーツ協会で役員をされているのですが、その方が指導されているところに、コーチが何人もおられて、中学校の子どもたちを受け入れる準備をしようかという話をされました。スポーツ少年団は6団体あり、その他にも空手、柔道、剣道、それから野球にバレーなどの地域クラブがあり、今、小学校を主にやられているようですが、それにお声かけをして少しずつこちらの事情も聞いていただいて、受け入れの方向に持っていこうとしています。しかし、それがうまくいくかどうかはまだ分かりません。ただ、立ち話のような形ですが、中にはそういう前向きに捉えながら、この学校の部

活動の地域移行についていろいろ考えながら、一緒に歩いていきましようというような話を聞いたりしています。だから、この問題は以前に議会でもお話しさせていただきましたが、今まで国のスポーツを支えてきた中学校の部活動というのは簡単にそう変えられるものではないので、国も3か年とっていますが、ひょっとしたらもう少し延びる可能性があるという話も、先般文科省のある担当の人に聞いていますので、条件がいろいろあるでしょうから足元を踏まえながら、徐々にこれをしっかりこれから検討していく必要があると考えています。西脇市に最適なものは何かということにこれから時間をかけていかなければいけませんので、統廃合とびったりくつつけて、これからこれが重要な柱になるのだというようなことを決めつけてしまわないような形で、私は進めてほしいとも思っています。

◎市長

今の教育長のお話をもっともだと思います。私や教育長の年代では、クラブ活動というのはクラスと学校の2大柱という年代で育ちました。西脇市のことを書いているのではありませんが、新聞に書いてある言葉を読みますと、西日本の公立中学の男子教諭は職場の全員が移行を望んでいると明かすと書いてあります。働き方改革で私たちの年代と今の20代、30代前半ですかね、要は働くということに関しての意識が多分違ってきているのだろうということが記事に書いてある以上は、全国的な流れであろうと思います。ただ、救いとしまして、今、教育長の方からもお話がありましたけど、この記事によると、小学生主体のスポーツ少年団に中学生が参加できるように対象を広げる動きもあるという報告もされていますので、全国的にこういう動きが広がっていくのではないかと思います。

○委員

今回、解釈としては、休日の活動と学校部活動っていうので分かれていて、休日は民間の指導者さんがされるってことですが、普段、平日の部活動っていうのはそういう方が来られない場合は、どういうふうな活動をするのかなというのと、休日と平日で指導される方が違うと、子どもたちは戸惑いがないのかなっていうのが少し疑問なのですが、どうでしょうか。

◎市長

ありがとうございます。資料のオレンジ色のところと緑のところですね。担当の方から説明お願いできますか。

○事務局

まず休日と平日で指導者が異なるということですが、それもいろんな見方がありまして、子どもは柔軟なので対応できるのではないかという場合と、ただ、それでもやはり教員と平日の指導者と休日の指導者でしっかり連絡を取り合っていくべきだということで、その両面から準備も進めていかないといけないのかなと捉えています。それから休日と平日ということではありますが、まずこの3年間については休日の地域への移行で、その状況を見ながら平日も地域に移行していくというような流れもありますので、その辺りも見据えて考えていかないといけない問題ではないのかなというところです。

#### ◎市長

これは本当に難しい問題で、この新聞の記事によりますと2020年の9月に文科省が休日の部活動を段階的に地域移行する方針を表明していますので、先に休日の方から議論がスタートしています。2020年ですから、今から3年弱ぐらい前にそのような議論がスタートしているということで、先行しているモデル自治体もあり、岐阜県羽島市が先行しており有名だと聞いています。

#### ○委員

失礼します。既存学校施設改修等見込一覧表についてですが、黒田庄中学校の場合、工事の中でスクールバス乗降方向転換スペース表示、修繕と書いてあるのですが、西脇東中学校になった場合、スクールバスの乗り入れはないのかということと、あと、もしあるとすればそういったスペースについて何か検討されているのでしょうか。

#### ○事務局

まず西脇東中学校につきましては一番上の外構工事にあります東門の進入路の改良工事というところで、少し改良が必要だろうというところで、この工事を入れております。ただ、現地に確認に行きましたが、近隣にあります空き地など、そういったところも活用して、学校の方に直接乗り入れることは普段は控えようかなというところの案もございまして、黒田庄の方もそういったところも想定はできますが、近隣の土地の状況を見ますと、そういったところもないので、スクールバスの方向転換というような大きな項目として書かせていただいているところです。実際の運用になってきますと、少しその辺はいろいろ考えていくところもでてくるのかなと思っております。

#### ○教育長

追加ですが、黒田庄中学校の職員室拡張工事のことが書いてありますが、以降、西脇東中学校では普通教室等の改修は必要ないのでしょうか。

それともう一つプールのことですが、丹波市立山南中学校の新設の施設にプール未設置、市内民間プールを活用し水泳事業を実施と書いてあるのですが、今の山南中学校の校舎のところには元々民間の温水プールがあったので、それを潰して今建てています。現在は、民間のプールは、柏原にしかありません。先日、どう移動してどう帰ってくるのかお聞きしたところ、旧八千代町で一旦、町立のプールを新しく作っていますが、確かバスで移動していたと思います。しかし、やはり近くにプールを作りました。いろいろな課題がありますので、そこは検討しながら考えていく必要があると思っています。

#### ○事務局

黒田庄中学校の設備の取り替えというのが、この時には改良が必要だろうというところです。西脇東中学校については、今の段階ではそこまでということではなく、今の設備が使えるだろうというふうに見込んだものでございます。あとプールの関係になりますけれども、先程ありましたとおり、プールに移動する場合には授業が終わった後、移動する時間、例えばバスに乗って行くということであれば、バスまでの時間、バスからその施設へ行く時間、そこに行ってから着替える時間ということもあって、その準備段階で必要な時間があります。授業を何コマか、2コマほどまとめて行う場合とか、そういった運用もあるとは思いますが、授業が終わると同じように着替えて、移動して、教室へ戻ってきて、次の授業というような時間の使い方になると思われま。そういったところの実際の教育課程等のコマ数、年間のコマ数等の調整も必要ですし、施設の使用状況等もありますので、簡単に導入できるということを考えているわけではございません。屋外プールの修繕工事というところは最低限でも必要だということで、今回入れさせていただいているところです。

#### ○教育長

私は、西脇東中学校に10年勤めましたが、現3年後に西脇東中学校は87人、黒田庄中学校は137人で、137人が例えば案2のところに行く、または、案2が案1のところに行く。こういう場合に、改修する時の全体の今のイメージで、子どもたちの動線であるとか、いろいろなことを考えたら西脇東中学校の場合、食堂の東側か北側にもう一度仮設校舎を建てていく。そうすると、子どもたちの窮屈感とかいろいろなことを考えた上で進めないといけないと思います。ここの2つの中学校を足したら224人、西脇東中学校が最近200人を超えたことは一度もありません。今後、200人を超える大きな学校になっていくと、あの西脇東中学校のスペースでどれだけ可能なのかというのが少し気になります。仮設

校舎を建てるのでしたら相当ゆったりした子どもたちが十分教育活動ができるような施設にしてやらなければいけないのではないかと思います。ただ、その後、15年先まで待てるかどうかということですが、そこをよく考えて説明材料になったらいいと思っています。大きい方が小さい方へ動く、小さい方が大きい方へ動くどちらの負担が大きいとか、イメージがどうかとかいうことも検討に入れてほしいと思います。

#### ○事務局

200人を今まで超えることがなかった、これまでにない西脇東中学校で配置が決まるということであれば、確かに動線であるとか、そういった細かいところまでは正直なところ、空きスペースにどれだけ入るかというところの机上で考えたところもございしますので、そういった方向になるとすれば、普通教室の増設工事というところの部分では、そういったところも考えていかなければならないと考えております。

#### ◎市長

今、西脇東中学校で1.5億円から2億円という数字が出ましたけど、その数字の中には、プールが10年ぐらい使えるであろうというような補修工事の金額は入っていますか。

#### ○事務局

手元的には最低限の修繕ということで、約1,500万円から2,000万円かなというところの幅を見ております。単純に新築するということになれば、2億円は超えるというような手元的な試算ではありますけども、それはもう現実的ではありませんので、先程申しましたとおり、一定期間もつ工事ということで、積算の手元的にはそれぐらいの数字です。

#### ◎市長

ということは、例えば天神池のプールを使用して、加古川市さんが先進的に学校のプールをつくらず、少し離れていますが地域のプールを使われており、メリットとしてはいわゆるスイミングスクールのインストラクターが教えてくれるので先生の負担も軽減されます。教職員組合さんからの要望で、学校のプールの管理が大変なので改善してほしいという要望書もいただいておりますので、逆に言うとそういうことになったら、約1,500万円か2,000万円はコストダウンになるが、その分、往復するバスの費用がまた逆にかかってくるというマイナス面もあるので、15年使おうとすると年間100万円とすると1,500万円になるので、このプラスマイナスというところがそのプールを使う、使わないというお金の面だけを見たら、これは良し悪しがあると思いますが、ただこの間、山南中学校へ行った時にどのぐらいかかるのかを聞いたらバスの乗車時

間が20分ぐらいかかるとのことで、幸いなことにグーグルマップで、西脇東中学校からその天神池までを測定すると、大体7分ぐらいですので、条件が山南中学校よりは3分の1ぐらいはいいのかなと、数字的にはそういうことかなと思います。

○委員

失礼します。特に保護者の方が心配されるのは、通学の面が主になってくると思いますので、どちらになっても入り口付近の道が狭いということで、その点を十分に考慮していただいた計画を練っていただきたいなと思いますが、特に西脇東中学校の周辺は道が狭いと以前からお聞きしていますので、決して事故等々ないよう、また、周囲の住民の方々の理解も当然必要になってくると思いますので、その点を十分に考えて計画をしていっていただきたいと思います。

◎市長

はい、ありがとうございます。ほかございませんか。

○委員

失礼します。教えていただきたいのですが、現在部活動で、西脇東中学校と黒田庄中学校の野球部が連合で活動されているのですが、他にどんな部活が連合でされているのか教えていただきたいのと、それから黒田庄中学校の体育館が雨漏りする件ですが、西脇東中学校はそういったことはないのでしょうか教えてください。

○事務局

部活動の合同チームについてですが、先程おっしゃられたとおり、西脇東中学校と黒田庄中学校の軟式野球部と黒田庄中学校と西脇東中学校のバレーボール部があります。年によって実人数が足りる場合もありますので、一緒にやったり、一緒ではない場合もあつたりします。それから、西脇中学校のソフトボール部も現在人数が少ない状態ですので、そこが黒田庄中学校や西脇南中学校と合同でしたりするような状況で、それ以外にも西脇南中学校と黒田庄中学校のサッカー部が、新人戦のときは人数が足りないということで合同チームになっていました。

○事務局

体育館の雨漏りの件ですが、西脇東中学校については、今現在のところこちらは聞いておりません。

◎市長

ありがとうございます。合同の部活動の話にびっくりしましたが、それぞれどこで部活動をされているのですか。

○事務局

具体的にはこちらでは把握できていませんが、各学校で練習する場合もありますが、お互いに行き来しあったり顧問が調整したりしながらお互いの学校を使って活動しています。

◎市長

移動は自転車でしょうか。

○事務局

自転車で行く場合や、休日では保護者が送迎する場合もあると思います。

◎市長

ウィークデーは自転車で、休日は保護者の送迎というのが基本になるということによろしいでしょうか。

○事務局

休日であっても自転車で行く場合もあるかと思えます。

◎市長

他に何かございますか。

○委員

通学支援のところ、先ほどJR利用の御説明をいただきましたが、もしJRを使われるお子さんがいらっしゃる場合、費用を補助する予定とか何かあるのでしょうか。

○事務局

現在は具体的にどのような補助をすとかいうようなことまでは考えておりませんが、現在の市の施策として通学補助2分の1という制度ができました。その部分について、西脇東中学校と黒田庄中学校を使う場合は、それに上増しするような補助について、今後、政策的に検討してまいりたいというふうに考えております。

◎市長

これは教育委員会の政策でもありますし、JRという切り口になりますと市長部局という切り口になります。来年度から区間の2分の1を補助するというのは、高校生、大学生も一部あるのかなということで開始しようとしています。ただ、高校生が自分の希望した高校に行くというのと、義務教育において、どちらかに行かざるを得なくなるというのでは、根本的に条件が違ふと思います。また、JRを推進する立場から言うと、できるだけたくさんのお子どもたちや生活をされる方には、自転車で直接乗り込んでJRを利用してもらうのも、全国的にも全く新しい発想でライフスタイルをつくっていくことはとても大事なことでと思います。元環境大臣からもSDGSになりますねと言われたのですが、ただ

人数が少なかったらSDGSにはならないのです。やはり自転車と一緒に、子どもたちや大人が乗り込むということがJRを残すためには大事だと思いますので、ここではっきり申し上げることはなかなか難しいのですが、バスだったら身近にまで行きますが、それには本人しか乗れませんということではなくて、バスの代わりに電車に乗ってもらって、自転車で自由に行き来ができるというメリットというのは非常に大きいと思います。障害もあると思いますが日本で他でやったことがないことですが、単線で駅の中で階段を上がって電車に乗るところが幸いがないので、ここが弱みですけど強みになるところかなというふうに思います。そこを非常に大きなポイントだと思っています。

#### ○委員

市長がお話しになったように自転車でということになりますと、同じ時刻に乗り、同じ時刻で降りるっていう混雑状況とか、いっぺんに子どもが乗って子どもが降りるっていう状況を考えると、ちょっと不安もありますし、スクールゾーンの整備では、比延駅から大量に自転車があの細い道を走ると考えると、住んでいる者にするとちょっと不安がありますので、そういったことも少し気になります。

#### ◎市長

比延駅に決まったわけではないのですが、比延駅に決まった場合は、この件はとても大事なところだと思います。スクールゾーンの例では、日野小学校や西脇中学校の対象になる通学路では、時間的に車の通行を制限しているところがあります。これは、公安委員会や警察との協議になると思うのですが、どちらの中学校になってもその部分はポイントになると思いますし、JRもたくさん乗ってくれたら採算が合うんですよね。車両も一つプラスしようかということにつながると思いますし、今ちょうどその検討として、自転車を乗せるのだったらもう一両つなぎましようというテストパターンも検討していると聞いています。写真はJR紀勢線で、すでに観光の人たちが乗っているのですが、この整理券を取っているところって、どこかで見るレアな風景ですよ。加古川線がまさにそうですよね。ですから、加古川線と同じような状況で、彼らはもうすでにやっているわけです。これは予約がいりません。でも観光だけで、サイクリングだけです。こういうサイクリストの方の写真を見たら、規則の改正とかではなくて、もう既にやってといるという話です。ハードルが高いですが、ここはなんとかやっていきたいなと思います。自転車と列車に関する法律は何でしたでしょうか。

#### ○事務局

自転車活用推進法というものがあまして、自転車活用推進法の中には、公共交通関係事業者の責務等というのがございます。自転車等公共交通機関との連携の促進等に努め、国や地方公共団体が実施する自転車活用の推進に関する施策に協力するよう努めることということです。自転車と公共交通機関が連携して取組をするようにということで、計画の方もつくられておりますので、それに則り取組ができたらなと思っております。

◎市長

今説明しました法律ができ、JRさんはしないといけませんよという法律がありますが、このような流れになっています。

◎市長

この会議は首長と教育委員会さんの方とで議論をする場ですので、この1、2、3の中のどれかを選択しないといけないというところで、結論から言うと、第2案を私は推したいと思えます。一番の理由は、網掛けが少ない、データに網掛けが今のところ2つですが、案1の場合は5個あって、案3の場合は6個あるというのが一つの大きな要因で、理由づけがそこにあります。他にも理由はありますが、それを言っていると時間がありませんし、決してここで決定する場ではありませんので、今まで通りの疑問点や、通学路の関係で懸念される点もおありかと思うので、御意見等お願いいたします。

○委員

先ほども申し上げたように、通学路のことに関しては、大量に人が降りることは、黒田庄中学校になっても西脇東中学校になっても同じなので、近隣にお住まいの方が今まで経験したことがないようなことが起こるとい説明と、あと、もし大きい学校から小さい学校に人数が移動する場合、そこの方々の納得感というのはすごく大切だと思いますので、どちらになってもそこにお住まいになられている方に丁寧な説明がいるのかなというのは感じています。

◎市長

はい、ありがとうございます。

○委員

私も、JRのことですが、いろんな問題点がたくさんあるとは思いますが、今、お話されていたように一つひとつ解決していかないといけないことがあると思うのですが、やはりJRの存続のことを考えれば、たくさん生徒が乗ってくれたらいいとは思いますが、それと部活動のことですが、この統合と部活動のことが同時スタートできるのであればいいの

ですが、できなかった場合のことも考えて、今から議論をしていかないといけないのではないかなと思いました。

◎市長

ありがとうございます。ここは新しい視点で、統合の部分とこの文部科学省とスポーツ庁が目指している部活動の地域への移行のタイミングというのをどのように考えたらいいか、担当の方からお願いできますか。

○事務局

まず西脇東中学校、黒田庄中学校の統合の年度ですが、今、統合年度自体は明らかにしていませんが、小中学校の統廃合、統合をする場合、ここをまず第1にしたいというふうに考えておりますので、一番直近になろうかと思えます。その直近と言いましても、2、3年は準備委員会でかかるのかなと考えておきまして、今、部活動については説明を若干させていただきましたが、これから5年、6年、7年の3年間をかけて国の推進期間ということになりますので、できるだけ上の地域クラブ活動に休日の地域クラブ活動というのができればいいのですが、なかなか難しいようであれば、先程市長説明されました合同部活動のようなことが視野に入ってくるのかなと思えます。それは3年間の推進期間ということですので、その辺を目指していくということで、統廃合と時期的には同じになってくるかと思えます。ただ、この部活動に関しましては、教育長が申しましたように難しい問題がたくさんありますので、簡単に3年で全ての形ができるかといったら、そうはいかないのかなというふうには考えております。

◎市長

はいありがとうございます。今、とても大事なポイントを御指摘いただいたと思えます。私も整理できていないのですが、下のところは、例えば西脇市内に置き換えると、上よりも下のところの部分が休日の学校部活動の地域連携というふうになる可能性が高いってということなんでしょうか。

○事務局

休日は、どちらにもかかってくるのかなというふうに思えます。下が学校の部活動という形で、学校の管理下において合同で部活動をしたり、外部指導者の方に入っていく。これも、上の休日の地域クラブ活動が体制を組むのが困難な場合はこれをしましょうというようなことで、そうすることによって学校の先生の負担も減りますし、指導者の数も減るといえるようなことになってこようかと思えます。ただ、一番目指して

いるのは、3年間の推進期間のうちに地域クラブ活動について受け皿をつくって、せめて休日をそこに移していきましょうというのが、国の今の言われていることかなというふうに理解しています。

◎市長

ここはとても大事なところだと思います。統合と一緒に問題だと思うので、再度確認ですけど、休みの日に上ができなかったとしたら、先生方が残業代や休日手当をもらっていただきながら、この3の2とかが先になるかもしれない。この新聞記事を見ると、先生の働き方改革が前面にでていっているので、それから見ると地域のできる場所もあるかもしれないけども、3の2をその学校で、でも先生は指導しないよというのが先にできる可能性もあるのですか。

○事務局

部活動指導員が指導するということがあると思うのですが、そこが確保できたら可能性としてはあるかもしれないのですが、それはその状況にもよると思います。

◎市長

ほか、御意見等ございませんか。

○委員

黒田庄中学校と西脇東中学校ですが、少ない学校が多い学校へ行くのが普通だとは思いますが。ただ、いろいろな理由でどちらになっても、とにかく先程申しましたように、通学の安定を図っていただきたいということと、このクラブに関しても、とにかく人材の確保が最優先でありますので、それに尽きると思います。無理に形に当てはめることを先にするよりも、地域にいろんな人を募ってその輪を広げていく方が、最終的には西脇に合った形ができ上がってくるのではないかなというふうには思います。

◎市長

はい、ありがとうございます。ほかございませんか。

○委員

いずれの案にしましても、まずその安全性というところをやっぱり重視していただきたいというのがあります。黒田庄中学校の校舎はいろいろ修繕しないといけなくて、西脇東中学校の方は修繕が少ないようになっていますが、実際、もう少し精査して安全な校舎にしていいただきたいなというふうに思います。また、通学路に関しても皆さんおっしゃられているように、市長の方からもありましたけど、例えば時間帯によって通行を制限するとか、そういったことも検討していただければと思いま

す。部活のことに関しては、先程言われましたけれども指導員の方の個人の技量によると思います。スポーツ少年団の方など、しっかりされている方もたくさんいらっしゃると思います。ただ、管理が十分できない場合も個人の力量になると思うので、その辺も見極めてもらいながら十分慎重に検討して進めていただければと思います。

◎市長

ありがとうございます。教育長、お願いできますか。

○教育長

今日、打ち合わせをほとんどせずにここに来ているのですが、私が教育長ということではなく、委員として発言していることがかなり多いので、そういうことで聞いていただきたいと思います。いろいろお話を聞かせていただく中で、部活動が大きなウェートを占めているのですが、そもそもこの総合教育会議に挙げられた学習環境規模の適正化ということが主たるテーマですので、そういうところに視点を置きながらぶれないで考えていきたいと思っていました。最初に資料の中で日照時間のデータがでましたが、これは8時間と5時間ぐらいの差で、それは日照時間が冬至の日に一番南中高度が低い。そして日照時間が短い中でどれだけ影があるか、その差があるかという図だったと思いますが、失礼な言い方ですがこのデータってやっぱり統合に必要なのだろうかと思いました。長い歴史の中で伝統を育んできて、やっぱり教育をやってきた学校が、日照時間だけで切り取られる面をだすのもちょっとどうかという私なりの思いがあり、私の心の中には課題に残ったというような気がします。このA3の縦の資料も見ながら、市長のお気持ちをお聞きしまして、第2案を推すというような話でしたが、私は先ほども言いましたけれど、大きい方が小さい方に行くというメリットとデメリット、人数の少ない方から多い方へ移動していくことのメリット、デメリット。そういうことも考えること。そして、私は今までの審議会の中で一度も発言させていただく立場になくて、事務局を預かるトップということでしたから、最初の挨拶で言ったことはいろんな課題が出る中で、必ずその地域のそれぞれの思いというのが強くでるので大西脇で考えてください。大というのはラージ、大ですね。西脇1本で考えてくださいねということも挨拶の中で2回ほど確か入れました。そういうような思いの中で皆さんに検討してほしいと思います。丹波市の例の場合は、6町が一緒になりましたが、なかなかまとまりきれなくて、市庁舎をなかなか一つにできない、そのような問題がある中で、各町でできる統合を一つずつ始めています。市町によってはそれぞれ事情があるのですが、西脇市の場

合は面積的に見ても、そして都市化の状況を見ても丹波市とは全く違うコンパクトな都市を形成しています。部活動の課題も最近突然でできたのですが、ハードの面が結構多くてソフトの面が抜けているのではないかという気がしています。私は学校の教員でしたから、やはりどうしても学ぶ力と学力であるとか、学力の質とか教育の質とか、そういうことも挙げながらどちらにした方がいいだろうということも考えながら、その中に部活動が一つ入ってくるとは思いますが、そのような位置づけでソフト面についてももう少し材料とする方がよかったかなと思います。どんな学力をつけてくれるのかとか、西脇の教育はどちらを向いているのかとか、小中一貫になってどんな結果になってくるのかとか、どうやって学力を伸ばしてくれるのかとか、10年、15年後には西脇市の教育ってどんな形になっているのかというようなことも含めて、統合も考えていかないといけない。教育の質ということも含めて、ソフト面をもう少し入れることができなかつたのか、こうやって絞っていくと、ハード面がどうしてもそういう条件になろうかと思うのですが、確か比延地区は3,000人少しではなかつたですかね。黒田庄は6,000人余りあつたと思うのですが、人口だけで言うと2対1ぐらいの差があつて、皆さんの思いはお互いにだしてくると難しい部分もあるし、平成の合併のこともまだ何か残ってないかなというようなことも含めて、じっくり検討しながらもう少し時間をかけてもいいかなと考えます。私は市長と逆行するかもしれませんが、黒田庄中学校の改修の見込みについて不必要なところまでしなくていいと思っています。どうしてかと言うと、あと10年ほどしたら2極化の方向を検討していかないといけない。それぞれの校区において、統合の準備を始めていかないといけない。そういうことがずっと続いて全校区それぞれがスタートしていきますので、順次そういうことについて検討する時間があつてもいいのではないかというような思いはしています。これがどういうふうに伝わるかわかりませんが、私自身としては一委員としてお答えさせていただくなら、こういうような思いを持っていますので、お答えしておきたいと思ひます。

#### ◎市長

言い残した御意見等はございませんか。これは会議に向けて市長部局と調整しながら教育委員会で作られたものなので、またソフトもあるのでしたら、それも入れておいていただければ議論になつたと思うのですが、あと確かに大きいところ小さいところもありますが、人口重心の結果をだして、私なりに公平公正という理屈ですが、黒田庄中学校の校区と西脇東中学校の校区を一緒にして、子どもさんの人口重心を精密に

でしたら、いわゆる西脇東中学校が近いので、今両方の学校をなくしたとして、本来作るべき真ん中の道は、この黒田庄駅からちょっと南ぐらいのところが真ん中になります。これはAが 3.5kmで、Bが 3.1kmですので、公平に見たら 3.1kmの方へ行く方が公平ではないかということで、その数字だけで割り切れないところはあるのですが、逆にその数字からいくところになります。ですから何が言いたいかというと、どちらの学校へ行く方が生徒さんにとって負担が大きいかというと、近い方が当然負担は少ないので、3.1kmの方がいいのではないですかというふうなことがこのデータです。ただ、おっしゃるように大きい方が確かにゆったりしていていいというのもその通りですので、この工事の金額の査定についても両方とも大体同じ条件になるように、公平にその積算をしてくれていると思いますので、どちらかが華美になるとか、どちらかが生徒数あたりとか、先生あたり、大きなものになるとかというのはよく考えて、考え得る試算をしているというふうに思いますので、そこは、定規をちゃんと当てておかないといけないというふうに思います。

#### ○教育長

部活のことですけど、一つ忘れておりました。学校の先生のOBの方とお話していたのですが、これから部活動は移行していくわけですが、文化連盟とスポーツ協会、やはり生涯スポーツ、生涯文化芸術、これに位置づけて動いていくということが大切ではないだろうかということをお聞きさせていただきました。そうでないとなかなか受け入れていただけないのではないのではというふうに思いました。実は私、平成21年から西脇南中学校に教頭で勤めていた時代があります。その時に中学校1年生の学級が4学級ありました。兵庫県全体で、中学校1年生の学級担任が懇談もできないぐらい忙しいから部活の指導をしないという通知がでたのです。それで、その担任の先生が受け持っておられる部活動について支援をしてくれる人を募りなさいと県教委から言ってきましたので、全県一斉にそれをやりました。西脇南中学校の教頭として、私は西脇市体育協会に頼みました。そしたら快く引き受けてくれましたが、なかなか難しいなか対応していただきました。ところが、県教委は難しい問題なので簡単に集まらないだろうからということで、時間のある方は誰でもということで人を集めようとなりました。西脇南中学校では、体育協会を通じて、その協会のスポーツに該当する指導者ということで、卓球の顧問だったら卓球に、ソフトボールの顧問だったらソフトボールの先生が2時間だけ付いてくれたのですが、そういった形になったのは西脇南中学校と豊岡北中学校の県内で2つだけでした。後は学生さんとか、そ

れから主婦、いろんな方を募集して当てていました。これが過去の例であり、私の実体験です。支援員の延長線上で、今度この合同部活動であるとか、地域クラブ活動で学校の教師以外の人にお世話になる場合、その人たちは他にお仕事をお持ちですから、今後どのように関わられるかといことを、私は非常に心配しています。そういう感覚的なものもあって、慎重にやりましょうということを言っていますので、そこだけ御理解いただければありがたいと思っております。

◎市長

ありがとうございます。加東市の市議会議員さんが卓球協会の専務理事をされていて、滝野中学校の部活動指導員として、土日、特に日曜日なんかに指導されておられ、研修を受けていますとおっしゃっていました。この新聞記事によりまして、研修というのが必須であり、誰でもいいという時代ではないということをこの記事の中で言っているのかなというふうに思いましたので、また教育委員の皆さんにはこの記事を後でお配りさせていただきたいと思えます。

◎市長

他に何かございますか。本日の総合教育会議で議論をいろいろしていただきましたので、それを踏まえて教育委員会さんの方でもう一回議論をしていただきたいと思います。市としては、将来の学校配置を見据えて関連する事業に積極的に取り組んでいきたいというふうに考えております。関連する事業というのは、委員のおっしゃったような子どもさんの通学の安全安心とか、JRの絡みとか、また教育委員会さんだけじゃなくて、地域の人たちの人材の発掘等は首長部局のまちづくり課も協力して、オール西脇で考えていかないといけないことだと思えますので、そういうことを示しております。それでは、西脇市立小中学校学習環境規模適正化についてを終わります。

◎市長

次に、次第3、その他ですけれども、その他の教育、学術、文化に関する意見交換の場としたいのですが、何かございますか。

○委員

先日、2校の卒業式の方に出席させていただいて、校長先生とお話しさせていただいたのですが、どちらの校長先生も教員の数が足りないということにすごく困られていて、何かそういうことを伝えていただけないかっていうことで切実なのだと思ひまして、市として何か教員の数が増えるようにできることはありますでしょうか。

◎市長

では、担当の方からお願いします。

#### ○事務局

教員の未配置の問題は全国的な問題になっておりまして、兵庫県におきましても同じような課題になっております。事務局からさまざまな講師の方に当たったり、また県教委は県教委で講座を開かれて特殊な免許状をといるところでもあったりしているのですが、今教員になりたいという方が本当に少なくなっておりまして、正直、御迷惑をかけているところもございますので、今、必死に県教委とも連携をとりながらあたっていているところでございます。市につきましては、介助員とか、その他、先程でました部活動指導員や学校にできる範囲のところではしていただいておりますが、どうしても教科の指導でありますとか、県費のところは県との連携になってまいりますので、今の時点ではできるだけ努力しているところで御理解いただきたいと思います。

#### ◎市長

教育委員会の方でも電話での声掛けはずっと努力をしていただいております。本当にありがとうございます。なかなか難しい状況です。川西市の市長さんとこの間話をしていましたら、地元の地方紙にも載っていましたが、川西市立多田中学校だったか小学校だったか、小学校で担任なし。みんなでその学年担任という考え方で、新しい考え方でやっていますというのが特集をされておりました。市長会の中で、県知事との懇談会で、実は多田中学校も川西市長の方から県の教育長の方に話がありましたのは、フリースクールを川西市立の中学校には全部つくりたいというなかなか大胆なことをされるなどと思って、それをやるので県の支援もお願いしますというような話がありました。何が言いたいのかというと、足りない現状を何とかできる方向に現場で工夫をしていただきたいと思います。現場の声を届けていただいております。

#### ○教育長

繰り返しますが、既に1月、2月の校長会では、本市についてもその方向でも研究する旨は指示をだしております。学校でできる範囲の工夫もしないといけないし、学校の規模に大きな差がありますので、西脇の場合は、小さくてもできる方法、大きくてもできる方法、丹波市の資料を取り寄せて、丹波市の中央小学校だったと思いますが、いろいろな例も既に先進校として視察もし、また研究もしながら西脇としてやっておりますので、何ら遅れることなくやれるような手を打っておりますが、ただ人がいない。この悩みの中で今やろうとしておりますので、また御報告させていただきますが、わからないことがあったら聞いていただければあり

がたいと思っております。

◎市長

では、他にないようでしたら、事務局の方から連絡事項がございますか。

○事務局

では、次回の総合教育会議の開催についてですが、今日、検討いただきました協議事項等の関係がございまして、またそれを整理して時期等については調整を行いまして、事務局の方から連絡させていただきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

◎市長

それでは、これをもちまして、令和4年度第3回総合教育会議を閉会いたします。お疲れ様でした。

————— 閉 会 —————